

3. 京都市大原野の杜

障害者支援施設【生活介護事業・施設入所支援・短期入所事業】 特定相談支援事業所

(1) 総括

令和4年度は施設内にコロナウイルスを持ち込まないこと、感染しても拡げないことを目指して予防対策を講じつつ、利用者の日中活動も5月より再始動した。芽ぐみを含む紙すき班は週4日毎日取組み、近隣の小学校との交流学习も再開した。めざめ班については、音楽療法やお菓子作り、散歩などを再開した。マスク着用が可能な利用者は、コンビニでの買い物や個別外出にも出かけるようになった。しかしながら8月に新型コロナの集団感染が発生し、利用者39名、職員17名、合計56名が感染した。幸い重症者は出なかったが、1名の利用者が入院された。感染拡大の経過としては、まず発熱した職員からの報告が遅れたことで、連絡を受けたときにはすでに感染が広がっていた。その後は別フロアの発症していない利用者の隔離対応が徹底できなかったことにより更に拡大したと思われる入院された利用者は10日ほどでコロナは完治したものの、体調が戻らず入院を継続し10月に亡くなられた。

コロナ禍の生活の中で高齢の利用者は機能の低下が顕著であり、医務と支援が連携して毎日のバイタルチェックや食事量及び排泄量のチェックを実施した。蜂窩織炎や原因が不確定だが発熱する方も複数名あった。今年度は昨年度から入院されていた方、先に記した方を含め4名の方が亡くなられている。

利用者だけでなく利用者のご家族も高齢となられ、コロナ禍の生活で健康状態に変化がある方も増えている。ご家族が面会に来ることが困難な場合は、自宅やその近辺で面会の場を設定し外出の一環として職員が同行して出かけることも行った。年度末の懇談会の際には、利用者の親御さんだけでなくご兄弟や甥姪が同伴されるケースが目立った。ご家族からご親族へと関係が遠くなるほど関わる機会も減ると思われるため、施設側から積極的に関係づくりをして利用者のご家族ご親族と良い関係を築いていかなければならないと感じた。

10月以降は非常勤職員や常勤である補助職員の退職が相次ぎ支援職員の人数が減少した。正職員は夜勤や早出、遅出に就くため、日中活動に携わる機会が減り、日中活動は非常勤職員が頼りとなっている。職員の募集をしているが夜勤やシフト制の勤務には応募がなく、派遣職員にて補っているが不足している状況である。慢性的な職員不足により職員一人ひとりが疲労やストレスを抱えてると思われる。交代勤務で日々の支援業務に追われる中、自分の思いを吐き出す場が必要だと感じたが、十分なヒアリングや職員同士或いは上司と部下が意見交換する場を持つことができなかった。次年度に引き継ぐ課題である。

(2) 職員体制（令和4年度末現在）

施設長(管理者)1名 副施設長(サービス管理責任者)1名 事務職員2名(補助1名) 支援職員32名(非常勤9名、派遣職員2名) <常勤換算27.1名> 看護師2名 管理栄養士1名 洗濯業務(非常勤)2名 医師2名(嘱託:内科週1回・精神科月2回) *調理は業務委託

(3) 利用者の状況

ア 在籍人数・利用実績

(ア) 施設入所支援：定員 50 名・現員 46 名，年間利用率 90.2% (R 3 年度：93.4%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	在籍者	24	23	22	22	22	22	23	22	22	22	22	22	—
	利用日数	659	675	650	682	668	620	623	618	662	679	608	675	7819
女性	在籍者	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	—
	利用日数	693	719	720	743	744	715	725	699	738	744	671	744	8654
合計	在籍者	48	47	46	46	46	46	47	46	46	46	46	46	—
	利用日数	1352	1394	1370	1425	1412	1335	1348	1317	1400	1423	1279	1418	16473
	利用率%	90.1	89.9	91.3	91.9	91.1	89	86.9	87.8	90.3	91.8	91.3	91.4	90.2

(イ) 生活介護：定員 50 名・現員 46 名，年間利用率 89.2% (R 3 年度：92.7%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	在籍者	24	23	22	22	22	22	23	22	22	22	22	22	—
	利用日数	473	496	467	497	498	462	458	458	500	506	415	485	5715
女性	在籍者	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	—
	利用日数	496	522	507	540	548	528	528	519	552	548	462	531	6281
合計	在籍者	48	47	46	46	46	46	47	46	46	46	46	46	—
	利用日数	969	1018	974	1037	1046	990	986	977	1052	1054	877	1016	11996
	利用率%	88.1	88.5	88.5	90.2	91.0	90.0	85.7	88.8	91.5	91.7	87.7	88.3	89.2

イ 年齢・男女別人数：男性最高齢 74 歳・女性最高齢 81 歳

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	合計	平均年齢
男性	0	0	8	6	4	4	0	22	55.4
女性	0	0	9	5	4	4	2	24	59.1
合計	0	0	17	11	8	8	2	46	57.3

ウ 障害支援区分別人数

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	6 区分	合計	平均区分
男性	0	0	0	2	4	16	22	5.6
女性	0	0	0	1	4	19	24	5.8
合計	0	0	0	3	8	35	46	5.7

エ 利用者の動向

新規入所 男性 2名

退 所 男性 4名 (いずれも死亡による)

入 院 ・ 4月に1名、5月に1名、前年度より入院中の男性利用者死亡

・ 4月骨折の手術のため女性利用者1名入院

・ 8月コロナ感染により男性利用者1名入院、コロナは完治するも肺炎にて入院継続し10月死亡

・ 9月～10月蜂窩織炎により女性利用者1名入院

・ 10月～11月誤嚥性肺炎により男性利用者1名入院、11月に入院先にて死亡

・ 10月発熱及び咳症状により女性利用者1名入院

・ 11月発熱により女性利用者1名入院

・ 5月、12月、2月透析用シャント更新手術のため女性利用者1名入院

オ 短期入所事業利用実績：定員5名，稼働率50.5%（R3年度：42.4%）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	利用人数	7	9	12	8	3	9	11	11	10	10	12	11	113
	利用日数	29	36	47	24	10	32	38	35	45	37	52	78	399
女	利用人数	12	9	12	11	5	8	11	9	11	11	12	10	121
	利用日数	45	44	51	37	13	28	37	37	42	42	47	36	459
合	利用人数	19	18	24	19	8	17	22	20	21	21	24	21	234
	利用日数	74	80	98	61	23	60	75	72	87	79	99	114	922
計	稼働率%	49.3	51.6	65.3	39.4	14.8	40.0	48.4	48.0	56.1	51.0	70.7	73.5	50.5

○京都市依頼「あんしん生活緊急サポート事業(障害者緊急短期入所事業)」の

緊急利用枠を年間 13 週担当：利用者のべ16名、46泊の利用があった。

○虐待対応ケース なし

カ 日中一時支援事業利用実績 延べ3名（R3年度：延べ10名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
女	利用人数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	利用日数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
合	利用人数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3
	利用日数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3

(4) 重点方針及び事業内容 取組結果

ア 施設入所支援

(ア) 看護師が毎月の定期血圧測定を全利用者を実施。利用者の身体的状態や疾患に応じて、バイタルサイン測定をもとに日々の体調観察を行い状態の安定を図った。

継続して観察の必要な方は支援職員と連携して体調観察を行った。

(イ) 月1回の理学療法士訓練時には、より適した訓練が行えるよう看護師から利用者の身体機能の変化や疾患の状態などを伝え指導を受けた。また車椅子の適合状態について、身体的変化に合わせて調整できるよう理学療法士との連携を図り、

必要に応じて身体障害者手帳の申請について検討した。

- (ウ) 2階3階のフロア単位での生活が定着し、それぞれのフロアで利用者が安全にかつ快適に過ごせるようソファの設置、レイアウトの変更などを行った。

イ 生活介護

- (ア) 紙漉き班では、従来の紙ちぎりやフェルト作業だけでなく、ぬりえや絵画制作、ビーズのアクセサリ作りなど個々が主体的に取り組める活動を実施した。利用者の描かれた作品をモチーフに新たな製品の試作にも取り組んだ。販路を拡大することはできなかったが、秋に開催された「桂坂オータムフェスタ」において新たな作品を販売し好評を得た。
- (イ) 近隣小学校2校との交流学習は、春の種まきから植え替え、枝打ち、刈り取りと順次行い、最終の紙漉きまで一緒に実施することができた。長年継続しているため利用者も民生委員の方々と顔見知りとなりスムーズに言葉を交わす様子も見受けられた。
- (ウ) 週4日の活動をめざしたが、後半は職員の減少により実施できないこともあった。活動がない日は起床時間が遅い利用者もあり、生活リズムを保つ意味ためにもできるだけ外部の作業場（芽ぐみ）へはできるだけ出かけるように取り組んだ。
- (エ) めざめ班では、音楽療法やお菓子作り、散歩などを再開した。3F生活室を個別の取組みやお菓子作りに活用できるよう整備したが、活用するには至らなかった。
- (オ) 夏の恒例行事である納涼祭と花火大会は、8月にコロナウイルスの集団感染が発生したため中止とした。秋には「音の風」によるコンサートや移動カフェを利用した「ハロウィンカフェ」は一度に多くの利用者が集まらないように時間や日程を分けるようにして密を回避して開催した。また、個別外出として2名～4名の少人数での外食を再開した。利用者は久しぶりのレストランやカフェでの喫食を楽しまれた。
- (カ) 外部講師を招いてのお茶、お花、絵画の活動はコロナの感染状況に応じて、随時講師と相談しながら実施した。絵画については、京都府主催の「とっておきの芸術祭」の他、知的障害者福祉連絡協議会の作品展などにも出展して多くの方に披露した。また家族懇談会の際に生け花と絵画の作品を展示し、ご家族の皆様にも見ていただいた。その他、京都府主催の co-jin(コージン)ギャラリーに1名の利用者様が独自の文字で書かれた「手紙」が作品として展示され、利用者様はもちろんご家族も喜ばれていた。

ウ 健康管理

- (ア) 新型コロナの影響により1回目の健康診断は、ふれあいの里診療所と協力し最小限の検査と嘱託医による内科診察を行った。外部医療機関での健康診断は1月に実施。新型コロナ感染症の影響により1回のみとなったが必要項目は全て受検できた。検査結果は嘱託医へ報告し異常所見ある方は再検査となった。また結果はご家族へも報告し日々の状態をもとに質問等に対応した。
- (イ) 全利用者が1～3か月毎に歯科衛生士による口腔ケアや歯科医診察を受けることができ、口腔衛生状態を保持することができた。歯科受診時に受けた口腔ケア指導について、日々のケアに活かせるよう支援職員へ伝達した。また嚥下機能低下のある利用者1名に適切な支援を提供できるよう嚥下外来を受診していただき、安全な食事摂取

や誤嚥性肺炎発症の予防を進めた。

(ウ) 医務として新型コロナウイルス感染症流行による施設内感染防止策について、職員全体が統一して実施できるよう、その必要性や実施方法について伝達した。施設では8月に施設内集団感染が発生したが、病状悪化に早期対応できるよう療養期間中の体調観察に努めた。集団感染中の支援体制変更や利用者の状態については、常に情報共有できるよう支援職員との連携に努めた。

エ 給食

(ア) 栄養ケアマネジメントを行うことにより、定期的に利用者の摂食や健康状態を確認することが出来た。どの利用者も概ねしっかりと給食を召し上がっており、献立内容は問題ないとする。管理栄養士は支援職員からの個別ケースの相談を受け、対応が必要な利用者への提案をおこなった。

(イ) 前年度から変わらず、刻み、ミキサー形態については一定の質の料理を提供できた。嚥下機能低下のある利用者1名に対して、ミキサー形態からムース形態に移行させることで、誤嚥や飲み込みづらさによる体力の消耗を軽減できた。

オ 短期入所事業

新型コロナウイルス感染予防の観点から前年度に引き続き個室での対応を継続した。感染症の集団発生時には受け入れを中止せざるを得なくなり、他の短期入所事業所に利用者の受け入れを依頼するなどの対応を行った。また、年間を通して「あんしんサポート事業」により地域の緊急性のあるケースにもニーズに合わせた迅速な対応を行った。

カ 特定相談支援事業所

支給決定時のサービス等利用計画案を作成した。施設において適切なサービスが提供されるように支援担当者と協議した。

キ 家族との連携

2月下旬から3月にかけて個別懇談会を実施し、25名の利用者のご家族や後見人が参加された。施設での取り組みや利用者様の日常の様子を伝え、日頃心配されていること等も聴き取り、直接お返事することで安心していただけている。またその際に聴き取った要望は、「散歩など運動をしてほしい」「日帰り旅行などのレクリエーションの再開」「買い物などの社会との関わりを持つこと」が多く、高齢化やコロナ禍での体力や筋力の低下、社会からの遮断を心配されていることが伺える。

ク 地域における公益的な取り組み

(ア) 年間を通じて地域の小学校2校との交流学习を実施した。最終の紙漉き体験では児童だけでなく、地域の民生委員の皆様にも紙すきをしていただき好評であった。

(イ) 「ふれあいの里秋まつり」および大原野地域の「大原野フェスタ」は今年度も中止となったが、桂坂オータムフェスタに出展することができた。

(ウ) 大原野社会福祉協議会主催の「暮らしの講習会」が施設の会議室にて開催され、参加者には紙すき班の製品が記念品として配布し、利用者の日頃の活動を知っていただく機会となった。

ケ 職場環境の整備

年に2回は定期的なヒアリングを行う予定であったが十分な時間を取って実施することができなかった。安全衛生委員会は月に1回実施した。また産業医による勉強会は、

「コロナうつ」「薬事療法」「健康診断結果の見方」をテーマに年間3回開催した。回を重ねるごとに職員からのリクエストも出やすくなり、よりニーズに沿ったテーマとなってきた。

コ 虐待防止の取り組み

(ア) 職員に虐待防止に関するセルフチェックのアンケートを実施した。内容は日頃の業務を中心とし、自らの行動を振り返ってもらった。

(イ) 虐待防止委員会を開催し、セルフチェックアンケートや身体拘束について話し合った。

セルフチェックのアンケートの主な回答を棟会議にて報告し展開している。その他外部研修への参加。職員会議で伝達研修実施した。

(5) 情報

ア 施設からの情報発信

(ア) 9月と2月に2回発行しご家族や関係者に送付した。写真を増やし施設での様子が伝わりやすいようにしている。

(イ) 法人ホームページのブログには行事の様子などを載せる予定であったが、担当者も明確に定めていなかったため更新できなかった。

イ 苦情や要望の把握

個別懇談会を9月と3月に実施する予定であったが、9月には実施できなかった。3月には例年より多くのご家族が懇談会に出席され要望やご意見をいただくことができた。

その他苦情はなかったが、ショートステイ利用者のご家族から利用中の様子や職員の関りについて、わかりにくいので具体的に報告してほしいとの申し出があり、連絡帳を利用して具体的な内容を報告するようにした。

1名の利用者からコロナ以前に利用していた美容院を利用したいとの要望があった。現在は訪問理容を利用していただいているが地域の美容院の利用を再開させていくようにする。

第三者委員の定期的な訪問は実施しておらず、通信や電話にて様子を伝えるにとどまった。

ウ リスクへの対応

職員体制や新型コロナウイルス感染症発生のため開催できない月もあったが、基本的に毎月リスクマネジメント委員会を開催し、インシデントレポートの分析や早急に必要とされる事案の検討を行った。

また、アクシデントレポート、インシデントレポートに挙がらない事例であっても、

リスクの高い事例をピックアップし再発防止のために職員全体に周知している。廊下やデイルームに加えて各階の食堂に見守りカメラを設置した。他のカメラと併せて事故やインシデント事案の原因の分析や検証に活用している。

(6) 育成

ア 実習やボランティアの受け入れ

(ア) 今年度は、保育専門学校より実習生2名を受け入れた。他の大学からの実習も予定していたが学生の家族がコロナに感染し中止となった。

(イ) ボランティアについては、コロナウイルスまん延の状況もあり新たな募集はできていないが、お茶、お花の講師については継続して活動していただいている。

イ 職員育成

研修委員会を中心に「介護技術」「適切な支援」「非常時の食事作り」をテーマに研修会を実施した。特に介護技術については京都市リハビリテーションセンターより講師を招いての研修も行った。喀痰吸引についての研修は、4月に対象者が死亡されたため中止した。現在新たな対象者がおられるため順次進めている。

他施設の見学は、計画したもののコロナの集団感染があり実施できなかった。

(7) 地域との交流・連携

大原野地域の民生委員等と協力し年間を通して小学校との交流学习を実施した。

6月にはすこやかクラブの体操教室に参加させていただき、利用者を対象に施設内で健康体操の実施を検討していたが、コロナの集団感染の発生とその後の利用者の体調不良等があり実現しなかった。

(8) 施設整備

ア 新たな設備の整備

Wi-Fi アクセスポイントの増設、非常時用投光器購入、ベランダ部分水栓造設、見守りカメラの増設、PCA タイムレコーダー購入（これまでリースであったものを買取）

イ 施設設備の改修及び修繕

大型洗濯機取替、トイレの間仕切取替（一部京都市に修繕）、廊下間仕切り扉改修、洗面所内間仕切設置、非常灯交換、換気扇取替、LED照明の一部取替え

ウ 厨房内機器の整備

更衣室の空調設置、

京都市大原野の区分 資金収支計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収 入	障害福祉サービス等事業収入	[306,690,000]	[295,650,967]	[11,039,033]
	自立支援給付費収入	(273,160,000)	(260,395,539)	(12,764,461)
	介護給付費収入	272,630,000	259,911,549	12,718,451
	計画相談支援給付費収入	530,000	483,990	46,010
	補足給付費収入	(3,560,000)	(3,062,268)	(497,732)
	特定障害者特別給付費収入	3,560,000	2,773,853	786,147
	特例特定障害者特別給付費収入	0	288,415	△ 288,415
	特定費用収入	(28,170,000)	(26,986,546)	(1,183,454)
	特定費用収入(課税)	1,700,000	1,693,449	6,551
	特定費用収入(非課税)	26,470,000	25,293,097	1,176,903
	その他の事業収入	(1,800,000)	(5,206,614)	(△ 3,406,614)
	補助金事業収入(公費)不課税	820,000	4,523,674	△ 3,703,674
	補助金事業収入(一般)不課税	0	30,000	△ 30,000
	受託事業収入(公費)課税	880,000	590,700	289,300
	受託事業収入(公費)不課税	20,000	4,360	15,640
	受託事業収入(一般)課税	0	50	△ 50
	受託事業収入(一般)非課税	0	650	△ 650
	その他の事業収入(課税)	80,000	29,050	50,950
	その他の事業収入(不課税)	0	28,130	△ 28,130
	経常経費寄附金収入	[30,000]	[170,000]	(△ 140,000)
	その他の収入	[2,650,000]	[2,243,740]	[406,260]
	受入研修費収入	30,000	35,000	△ 5,000
	利用者等外給食費収入	2,280,000	1,296,730	983,270
雑収入	(340,000)	(912,010)	(△ 572,010)	
雑収入(課税)	340,000	356,110	△ 16,110	
雑収入(不課税)	0	555,900	△ 555,900	
事業活動収入計(1)	309,370,000	298,064,707	11,305,293	
事	人件費支出	[192,710,000]	[173,059,559]	[19,650,441]
	職員給料支出	(100,060,000)	(96,701,230)	(3,358,770)
	職員給料支出(課税)	2,426,000	2,125,446	300,554
	職員給料支出(不課税)	97,634,000	94,575,784	3,058,216
	職員賞与支出	32,960,000	26,209,895	6,750,105
	非常勤職員給与支出	(25,700,000)	(22,934,223)	(2,765,777)
	非常勤職員給与(課税)	496,000	1,300,400	△ 804,400
	非常勤職員給与(不課税)	25,204,000	21,633,823	3,570,177
	派遣職員費支出	5,480,000	2,630,369	2,849,631
	退職給付支出	4,430,000	3,054,107	1,375,893
	法定福利費支出	24,080,000	21,529,735	2,550,265
	事業費支出	[55,510,000]	[50,049,797]	[5,460,203]
	給食費支出	17,010,000	16,825,467	184,533
保健衛生費支出	5,260,000	2,692,995	2,567,005	
教養娯楽費支出	720,000	312,528	407,472	

京都市大原野の区分 資金収支計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
業 活 動 に よ る 収 支	水道光熱費支出	(20,110,000)	(21,581,498)	(△ 1,471,498)
	電気料	6,730,000	7,127,497	△ 397,497
	ガス料	7,730,000	8,522,488	△ 792,488
	上下水道料	5,650,000	5,931,513	△ 281,513
	燃料費支出	60,000	0	60,000
	消耗器具備品費支出	8,530,000	5,266,264	3,263,736
	保険料支出	430,000	397,790	32,210
	賃借料支出	2,180,000	2,104,313	75,687
	教育指導費支出	740,000	445,965	294,035
	車両費支出	(360,000)	(286,856)	(73,144)
	燃料油脂費	360,000	237,656	122,344
	その他の車両費	0	49,200	△ 49,200
	雑支出	(110,000)	(136,121)	(△ 26,121)
	雑支出(課税)	55,000	26,121	28,879
	雑支出(不課税)	55,000	110,000	△ 55,000
	支 事務費支出	[43,120,000]	[39,416,894]	[3,703,106]
	出 福利厚生費支出	(2,860,000)	(1,926,417)	(933,583)
	福利厚生費(課税)	2,760,000	755,219	2,004,781
	福利厚生費(不課税)	100,000	1,171,198	△ 1,071,198
	職員被服費支出	0	3,970	△ 3,970
	旅費交通費支出	650,000	614,470	35,530
	研修研究費支出	210,000	95,353	114,647
	事務消耗品費支出	1,130,000	667,036	462,964
	印刷製本費支出	450,000	328,124	121,876
	燃料費支出	0	1,944	△ 1,944
	修繕費支出	6,620,000	4,311,862	2,308,138
	通信運搬費支出	630,000	542,278	87,722
	会議費支出	20,000	18,085	1,915
	広報費支出	390,000	382,294	7,706
	業務委託費支出	23,330,000	22,974,941	355,059
	手数料支出	220,000	106,022	113,978
	土地・建物賃借料支出	(690,000)	(680,000)	(10,000)
	土地・建物賃借料支出(課税)	667,000	680,000	△ 13,000
	土地・建物賃借料支出(非課税)	23,000	0	23,000
	租税公課支出	1,120,000	869,400	250,600
	保守料支出	3,820,000	4,779,410	△ 959,410
	渉外費支出	720,000	678,180	41,820
	諸会費支出	(140,000)	(128,850)	(11,150)
	諸会費支出(非課税)	0	7,000	△ 7,000
	諸会費支出(不課税)	140,000	121,850	18,150
雑支出	(120,000)	(308,258)	(△ 188,258)	
雑支出(課税)	60,000	100,438	△ 40,438	

京都市大原野の区分 資金収支計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
	雑支出(不課税)	60,000	207,820	△ 147,820
	支払利息支出	[20,000]	[13,551]	[6,449]
	その他の支出	[1,090,000]	[807,552]	[282,448]
	利用者等外給食費支出	1,090,000	778,630	311,370
	雑支出	0	28,922	△ 28,922
	事業活動支出計(2)	292,450,000	263,347,353	29,102,647
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	16,920,000	34,717,354	△ 17,797,354
施設整備	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
に	固定資産取得支出	[9,280,000]	[9,110,420]	[169,580]
よ	建物取得支出	3,770,000	5,356,560	△ 1,586,560
る	器具及び備品取得支出	5,510,000	3,753,860	1,756,140
支	ファイナンス・リース債務の返済支出	[150,000]	[168,623]	[△ 18,623]
出	施設整備等支出計(5)	9,430,000	9,279,043	150,957
支	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 9,430,000	△ 9,279,043	△ 150,957
そ	積立資産取崩収入	[9,070,000]	[5,770,000]	[3,300,000]
の	人件費積立資産取崩収入	3,300,000	0	3,300,000
取	修繕積立資産取崩収入	2,970,000	2,970,000	0
入	備品等購入積立資産取崩収入	2,800,000	2,800,000	0
活	拠点区分間繰入金収入	[16,330,000]	[16,070,000]	[260,000]
動	その他の活動収入計(7)	25,400,000	21,840,000	3,560,000
よ	積立資産支出	[0]	[11,000,000]	[△ 11,000,000]
支	人件費積立資産支出	0	2,000,000	△ 2,000,000
る	修繕積立資産支出	0	4,000,000	△ 4,000,000
出	備品等購入積立資産支出	0	5,000,000	△ 5,000,000
支	拠点区分間繰入金支出	[32,890,000]	[34,900,000]	[△ 2,010,000]
支	その他の活動支出計(8)	32,890,000	45,900,000	△ 13,010,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 7,490,000	△ 24,060,000	16,570,000
	予備費支出(10)	0		0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	1,378,311	△ 1,378,311
	前期末支払資金残高(12)	164,431,498	164,431,498	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	164,431,498	165,809,809	△ 1,378,311

京都市大原野の区分 事業活動計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収 益	障害福祉サービス等事業収益	[295,650,967]	[308,287,040]	[△ 12,636,073]
	自立支援給付費収益	(260,395,539)	(266,166,844)	(△ 5,771,305)
	介護給付費収益	259,911,549	266,045,559	△ 6,134,010
	計画相談支援給付費収益	483,990	121,285	362,705
	利用者負担金収益	0	337,306	△ 337,306
	補足給付費収益	(3,062,268)	(3,800,725)	(△ 738,457)
	特定障害者特別給付費収益	2,773,853	3,268,309	△ 494,456
	特例特定障害者特別給付費収益	288,415	532,416	△ 244,001
	特定費用収益	(26,986,546)	(27,759,605)	(△ 773,059)
	特定費用収益(課税)	1,693,449	3,370,303	△ 1,676,854
	特定費用収益(非課税)	25,293,097	24,389,302	903,795
	その他の事業収益	(5,206,614)	(10,222,560)	(△ 5,015,946)
	補助金事業収益(公費)不課税	4,523,674	9,228,340	△ 4,704,666
	補助金事業収益(一般)不課税	30,000	0	30,000
	受託事業収益(公費)課税	590,700	884,400	△ 293,700
	受託事業収益(公費)不課税	4,360	50,670	△ 46,310
	受託事業収益(一般)課税	50	650	△ 600
	受託事業収益(一般)非課税	650	9,070	△ 8,420
	その他の事業収益(課税)	29,050	49,430	△ 20,380
	その他の事業収益(不課税)	28,130	0	28,130
経常経費寄附金収益	[170,000]	[666,255]	[△ 496,255]	
サービス活動収益計(1)	295,820,967	308,953,295	△ 13,132,328	
サ ー ビ ス 活	人件費	[176,740,259]	[173,227,148]	[3,513,111]
	職員給料	(96,701,230)	(99,055,649)	(△ 2,354,419)
	職員給料(課税)	2,125,446	3,395,808	△ 1,270,362
	職員給料(不課税)	94,575,784	95,659,841	△ 1,084,057
	職員賞与	18,153,330	16,813,011	1,340,319
	賞与引当金繰入	11,737,265	8,380,000	3,357,265
	非常勤職員給与	(22,934,223)	(23,765,968)	(△ 831,745)
	非常勤職員給与(課税)	1,300,400	668,730	631,670
	非常勤職員給与(不課税)	21,633,823	23,097,238	△ 1,463,415
	派遣職員費	2,630,369	0	2,630,369
	退職給付費用	3,054,107	3,554,440	△ 500,333
	法定福利費	21,529,735	21,658,080	△ 128,345
	事業費	[50,049,797]	[46,380,460]	[3,669,337]
	給食費	16,825,467	18,577,831	△ 1,752,364
	保健衛生費	2,692,995	1,424,916	1,268,079
	教養娯楽費	312,528	189,215	123,313
水道光熱費	(21,581,498)	(17,358,491)	(4,223,007)	
電気料	7,127,497	6,647,222	480,275	
ガス料	8,522,488	5,835,764	2,686,724	
上下水道料	5,931,513	4,875,505	1,056,008	

京都市大原野の区分 事業活動計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
動 増 減 の 部 費 用	燃料費	0	29,402	△ 29,402
	消耗器具備品費	5,266,264	5,645,725	△ 379,461
	保険料	397,790	643,200	△ 245,410
	賃借料	2,104,313	1,684,600	419,713
	教育指導費	445,965	403,354	42,611
	車両費	(286,856)	(367,391)	(△ 80,535)
	燃料油脂費	237,656	303,891	△ 66,235
	その他の車両費	49,200	63,500	△ 14,300
	雑費	(136,121)	(56,335)	(79,786)
	雑費(課税)	26,121	4,951	21,170
	雑費(不課税)	110,000	51,384	58,616
	事務費	[40,001,679]	[34,440,127]	[5,561,552]
	福利厚生費	(1,926,417)	(1,066,930)	(859,487)
	福利厚生費(課税)	755,219	887,668	△ 132,449
	福利厚生費(不課税)	1,171,198	179,262	991,936
	職員被服費	3,970	0	3,970
	旅費交通費	614,470	452,770	161,700
	研修研究費	95,353	300,164	△ 204,811
	事務消耗品費	667,036	369,770	297,266
	印刷製本費	328,124	367,199	△ 39,075
	燃料費	1,944	0	1,944
	修繕費	4,896,647	2,615,718	2,280,929
	通信運搬費	542,278	725,400	△ 183,122
	会議費	18,085	3,820	14,265
	広報費	382,294	299,750	82,544
	業務委託費	22,974,941	22,719,125	255,816
	手数料	106,022	589,353	△ 483,331
	土地・建物賃借料	(680,000)	(680,000)	(0)
	土地・建物賃借料(課税)	680,000	660,000	20,000
	土地・建物賃借料(非課税)	0	20,000	△ 20,000
	租税公課	869,400	347,100	522,300
	保守料	4,779,410	3,644,560	1,134,850
	渉外費	678,180	0	678,180
諸会費	(128,850)	(128,850)	(0)	
諸会費(非課税)	7,000	12,000	△ 5,000	
諸会費(不課税)	121,850	116,850	5,000	
雑費	(308,258)	(129,618)	(178,640)	
雑費(課税)	100,438	129,618	△ 29,180	
雑費(不課税)	207,820	0	207,820	
減価償却費	[5,807,456]	[5,519,268]	[288,188]	
国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 306,640]	[△ 297,459]	[△ 9,181]	
サービス活動費用計(2)	272,292,551	259,269,544	13,023,007	

京都市大原野の区分 事業活動計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	23,528,416	49,683,751	△ 26,155,335
サービス活動外	その他のサービス活動外収益	[2,243,740]	[2,622,164]	[△ 378,424]
	受入研修費収益	35,000	53,000	△ 18,000
	利用者等外給食収益	1,296,730	2,149,080	△ 852,350
	雑収益	(912,010)	(420,084)	(491,926)
	雑収益(課税)	356,110	357,940	△ 1,830
	雑収益(不課税)	555,900	62,144	493,756
	サービス活動外収益計(4)	2,243,740	2,622,164	△ 378,424
	増減費用			
	支払利息	[13,551]	[25,994]	[△ 12,443]
	その他のサービス活動外費用	[807,552]	[1,435,840]	[△ 628,288]
利用者等外給食費	778,630	1,235,840	△ 457,210	
雑損失	28,922	200,000	△ 171,078	
サービス活動外費用計(5)	821,103	1,461,834	△ 640,731	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,422,637	1,160,330	262,307
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	24,951,053	50,844,081	△ 25,893,028
特別増減	収益			
	施設整備等補助金収益	[0]	[330,000]	[△ 330,000]
	施設整備等補助金収益	0	330,000	△ 330,000
	施設整備等寄附金収益	[0]	[396,000]	[△ 396,000]
	施設整備等寄附金収益	0	396,000	△ 396,000
	拠点区分間繰入金収益	[16,070,000]	[0]	[16,070,000]
	特別収益計(8)	16,070,000	726,000	15,344,000
	減費用			
	固定資産売却損・処分損	[0]	[1,648,265]	[△ 1,648,265]
	建物売却損・処分損	0	1,648,265	△ 1,648,265
国庫補助金等特別積立金積立額	[0]	[330,000]	[△ 330,000]	
拠点区分間繰入金費用	[34,900,000]	[42,275,000]	[△ 7,375,000]	
特別費用計(9)	34,900,000	44,253,265	△ 9,353,265	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 18,830,000	△ 43,527,265	24,697,265
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,121,053	7,316,816	△ 1,195,763
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額(12)	179,326,213	176,059,397	3,266,816
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	185,447,266	183,376,213	2,071,053
	繰越基本金取崩額(14)	[0]	[0]	[0]
	その他の積立金取崩額(15)	[5,770,000]	[5,850,000]	[△ 80,000]
	修繕積立金取崩額	2,970,000	1,440,000	1,530,000
	備品等購入積立金取崩額	2,800,000	4,410,000	△ 1,610,000
	その他の積立金積立額(16)	[11,000,000]	[9,900,000]	[1,100,000]
	人件費積立金積立額	2,000,000	3,000,000	△ 1,000,000
	修繕積立金積立額	4,000,000	3,490,000	510,000
	備品等購入積立金積立額	5,000,000	3,410,000	1,590,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	180,217,266	179,326,213	891,053

